

# いざという時には落ち着いて行動しよう

## 避難は浸水が発生する前に！ < 避難時の注意事項 >

いよいよ避難するときが来てしまいました。家から避難先までの道路は、普段とまったく違った状態になっています。災害が発生したとき、一人では何もできなくても、地域の人々が協力すれば大きな力になります。日頃から自主防災組織の活動に積極的に参加することが、自分や家族を守ることに繋がります。避難時には助け合いの精神と慎重な行動を心がけてください。

1. 持ち出し品は最小限に。動きやすい服装で。ヘルメットをかぶりましょう。



2. 浸水が始まっていたら、状況に応じて2階以上や近所の高い建物へ避難しましょう。



3. 避難時には火元を点検しましょう。



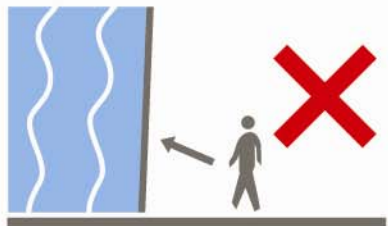
4. 外出中の家族に連絡メモを残しましょう。



5. 避難は徒歩で。車での移動は避けましょう。



6. 危険な場所には近づかない。増水・はん濫のおそれがあります。



7. 足元に注意。浸水している場所を歩くときには棒などでマンホールや側溝などに注意しましょう。



8. 地下空間に注意。浸水が始まると一気に水が流れ込み、脱出が困難になります。



9. 高齢者や体の不自由な方へ協力を。援護の必要な方に関しては早い段階で協力しましょう。



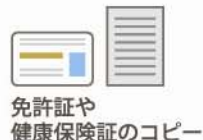
10. 避難所では係りの人の指示に従いましょう。



## 非常持出品を備えておこう

いざという時のため、普段から最小限の非常持出品を用意し、リュックサックなどに入れておきましょう。

### 持出品一覧



## アンダーパス・地下通路に注意しよう



大雨、洪水時には、アンダーパス・地下通路は水がたまりやすく大変危険です。地域のアンダーパスの場所を把握し、自動車での進入はやめましょう。(普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行が出来なくなります。)

